

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

教育に変革を、子どもたちに生きる力を。学習者に大人になっても役に立つ真の学力と努力の自信を提供。

② 中長期の経営戦略

1. コンテンツの拡充

科学と人間生活、情報Ⅰ（プログラミング対応）、探究教材Surala My Storyをリリース。教育関連企業と協働して新分野開発。

2. 開発体制の構築

生成AIへの迅速な適応と開発体制構築。社内技術向上、グループ連携、人材採用、ビッグデータ活用で差別化と競争優位性確立。

3. 情報管理体制の強化

2021年よりISMS取得。情報管理体制の継続的強化・整備で、セキュリティ確保に万全の注意を払う。

4. 人材確保と生産性向上

経営理念に共感した優秀人材採用。営業のコンサルティング能力向上。生成AI利活用・DX推進で付加価値高いサービス提供。

③ 対処すべき課題

① 教育ニーズの多様化対応

- ・不登校児童生徒数が過去最多35万人超で増加。多様な学習スタイルに対応できる教材需要が高まる。
- ・外国ルーツ児童生徒増加、日本語指導者不足で質の高い日本語教材の国内外需要が高まる。

② 市場競争と技術革新対応

- ・生成AIにより技術革新のスピード加速。新サービスや競合参入で市場競争激化。
- ・EdTech市場成長は緩やかだが、2026年以降ハードウェア更新期に成長期到来を期待。

③ ガバナンス・管理体制強化

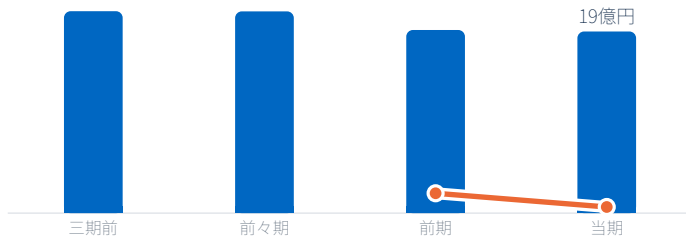
- ・事業拡大・継続成長に向けた内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス強化が重要課題。

面接で使えるポイント

- ・無学年式ICT教材で偏差値30～60の幅広い生徒層が学年超越した学習が可能。教育格差根絶が使命。
- ・不登校・発達障がい・低学力・貧困の4つの社会課題について効果をインパクトマネジメントレポートで可視化・発信。
- ・新学習指導要領で情報Ⅰやアクティブ・ラーニング推進。生成AIやビッグデータ活用で教材・サービス開発を加速。

証券コード 3998

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
ICT学習教材を開発・提供する情報通信企業

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
19億円営業利益率
3.4%財務健康度
58点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 40.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
549万円

情報・通信業内 484位/592社

平均年齢
38.4歳

情報・通信業内 288位/593社

平均勤続
3.66年

情報・通信業内 477位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 教員の8割以上が「日本語指導にICTが有効」と回答、すららネ

